

ともに チャレンジ!

～ 美しい「あ・や・が・わ」の進化 ～

あらたな文化 やすらぐ校風 がんばる心 わの精神

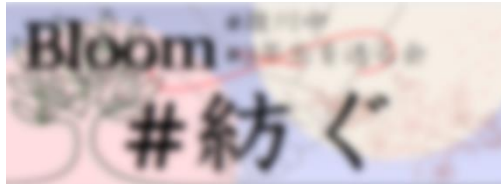


令和6年度 綾川中学校学校便り No.45

2025年2月28日

言葉の力 ～「3年生を送る会」にて感じたこと～

2月26日(水)の朝、生徒会主催の「3年生を送る会」を実施しました。テーマ紹介の後、1・2年生の代表者5名からは、卒業式まであと16日に迫った3年生に対して、これまでの感謝の気持ちや在校生としての決意、卒業後の新たな生活に向けてのエール等が熱く語られました。



この日の発表者に共通していたのは、全員原稿を読むことなく、しっかりと3年生を見据えてはっきりとした口調で語っていたことです。本校では以前、子どもたちが何かを発表する際、原稿を読み上げる姿が散見されていましたが、綾川中学校創設時の生徒会役員や3年生を中心に、原稿を見ずに「語る」姿が随所で見られるようになりました。そのため、それぞれの発表者の思いや熱量が伝わってきたり、声の抑揚等の表現力が高まったりしています。私もこの発表を3年生の後方で聞いていましたが、それぞれの思いは3年生にしっかりと伝わっていたと感じました。

現代社会は、ネット上のコミュニケーションの最盛期で、遠隔地でも気軽にメッセージを相手に伝えられる時代です。しかし、SNS上での短い言葉のやり取りや、抑揚のない機械的な文字(記号)は、感情が正しく伝わらないばかりか、言葉のニュアンスの取り違いによるトラブルに発展することもあります。せめて学校は、温かみや思いやりのある「生の言葉」が飛び交い、互いの思いや考えを、直接言葉で響かせる場を大切にすべきだと考えます。

綾川中学校では、生徒が活躍したり発信したりする場を大切にしています。それは、授業中の発表や話し合い活動であり、生徒会活動や委員会活動の取組の発信であり、学年団集会以での発表であり、部活動のプレー中のコミュニケーション等です。

「話せば分かる」という言葉があります。これは、価値観が合わない相手や行動が不明な相手などとも、じっくりと話し合えば相互理解が可能であるという考え方を示す言葉です。意見が合わない時に折り合いをつけるのも、何かを決めたり改善したりするときに話し合うのも、すべて言葉が原動力となります。これからも、子どもたちの「言葉の力」を日々の学校生活の中で高めたいと思います。



三年生へ
花束贈呈



広報員会(全二・三年生)作成
感謝・応援メッセージの披露

◇◇生徒会長から3年生に向けたメッセージ◇◇

先輩方は様々な行事、委員会活動、部活動等で、いつも私たちを支えてくださいました。そんな一生懸命な先輩方の姿は、私たちの目にしっかりと焼きついています。これから先輩方は自分のしたいことや、将来に向けてそれぞれの道を進んでいくと思います。決して楽な道ではないはりますが、皆さんならきっと大丈夫です。困っている私たちに優しく寄り添ってくれる、いつも私たちを導いてくれる皆さんならきっと乗り越えられます。

私が好きな曲にこんな歌詞があります。「夢を追うための痛みは傷にならない」。素敵なお言葉だと思いませんか。しんどいこと、辛いことを乗り越えた先には、今までの苦労を忘れられるくらいの喜びがある。そう信じて、これからも頑張っていってほしいと思います。卒業まで残りわずかとなりましたが、私たちは先輩方のことをずっと応援し続けます。

今まで本当にありがとうございました。

